

令和7年度決算の概要

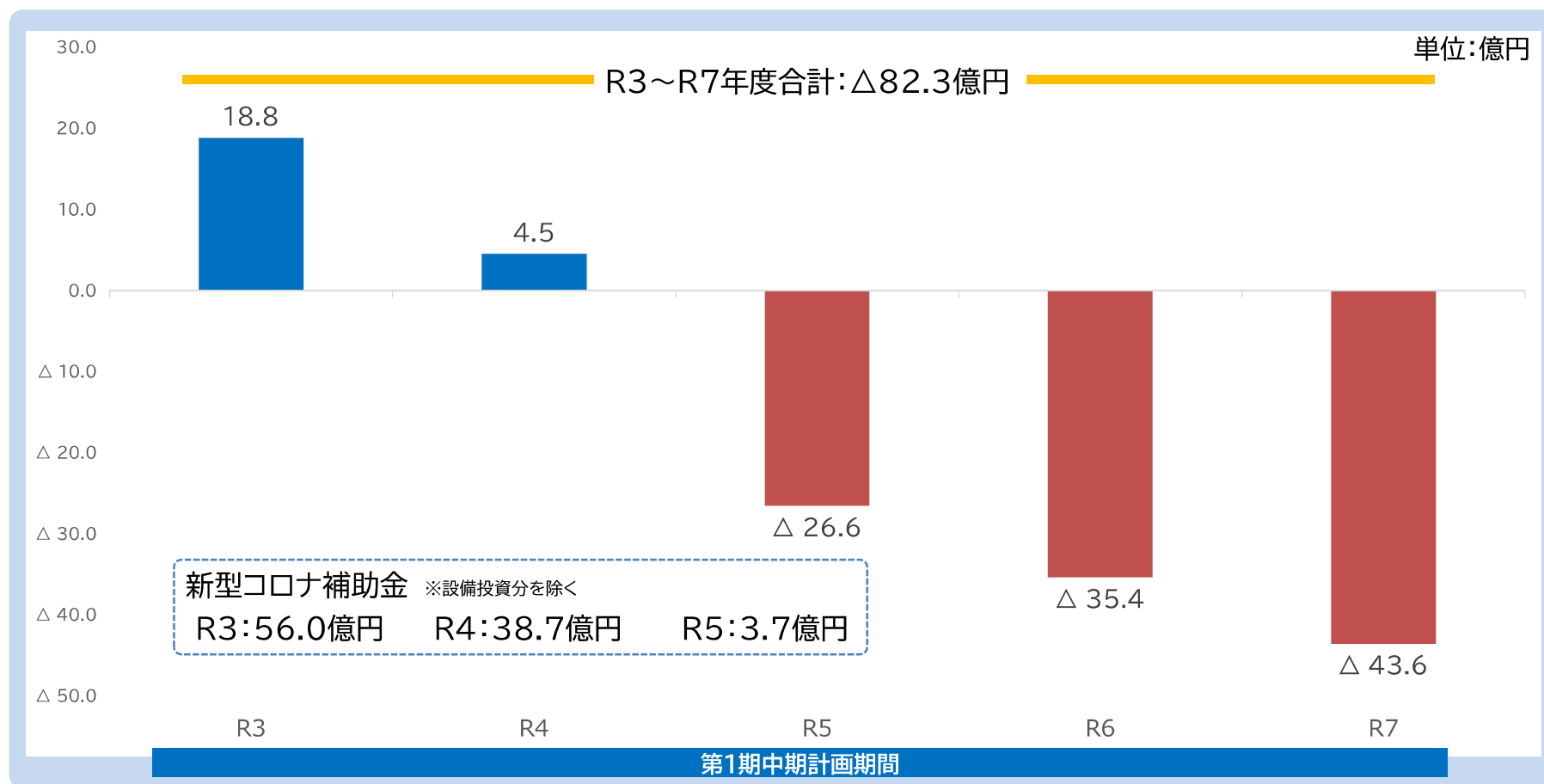
資料1 - 2

令和7年度は機構全体で**43.6億円の赤字**(前年度決算比**△8.2億円**)
 高額な抗がん剤等での単価増により収益増となったが、人件費・物価の上昇により費用も増加

	R7決算	R6決算	差
収益的収入	660.7億円	647.5億円	13.2億円
医業収益	498.1億円	489.5億円	8.6億円
運営費負担金収益	139.6億円	143.5億円	▲3.9億円
補助金収益	8.3億円	2.2億円	6.1億円
医業外収益	14.7億円	12.3億円	2.4億円
収益的支出	704.3億円	682.9億円	21.4億円
医業費用・一般管理費	667.0億円	646.0億円	21.0億円
医業外費用	37.3億円	36.9億円	0.4億円
純損益	▲ 43.6億円	▲35.4億円	▲8.2億円

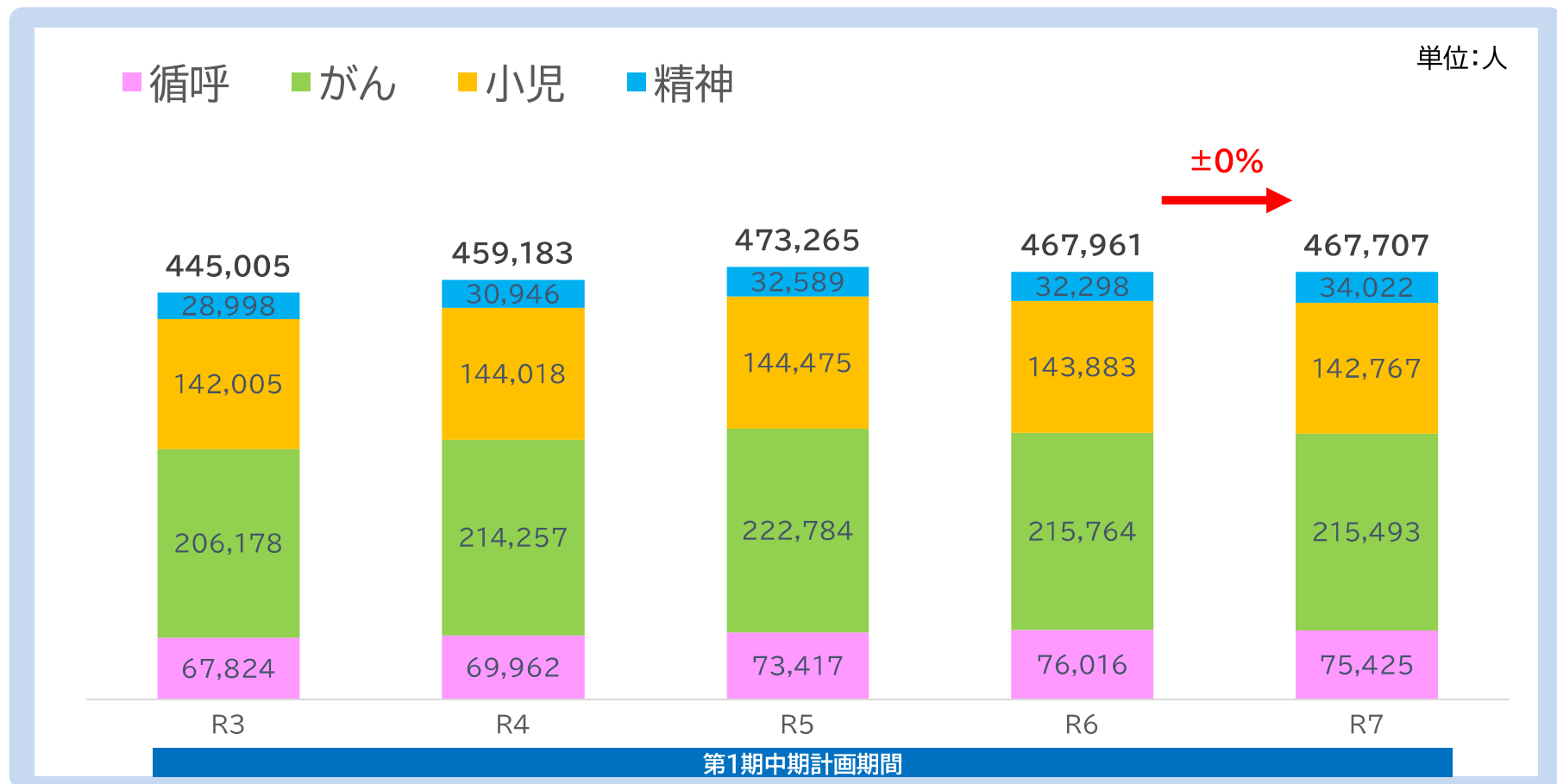
第1期中期計画期間の純損益の推移

第1期中期計画期間5年間の純損益の合計は△82.3億円。コロナ禍後の患者受療行動の変化、診療報酬の改定不足、人件費・物価の高騰等により収益構造が悪化。



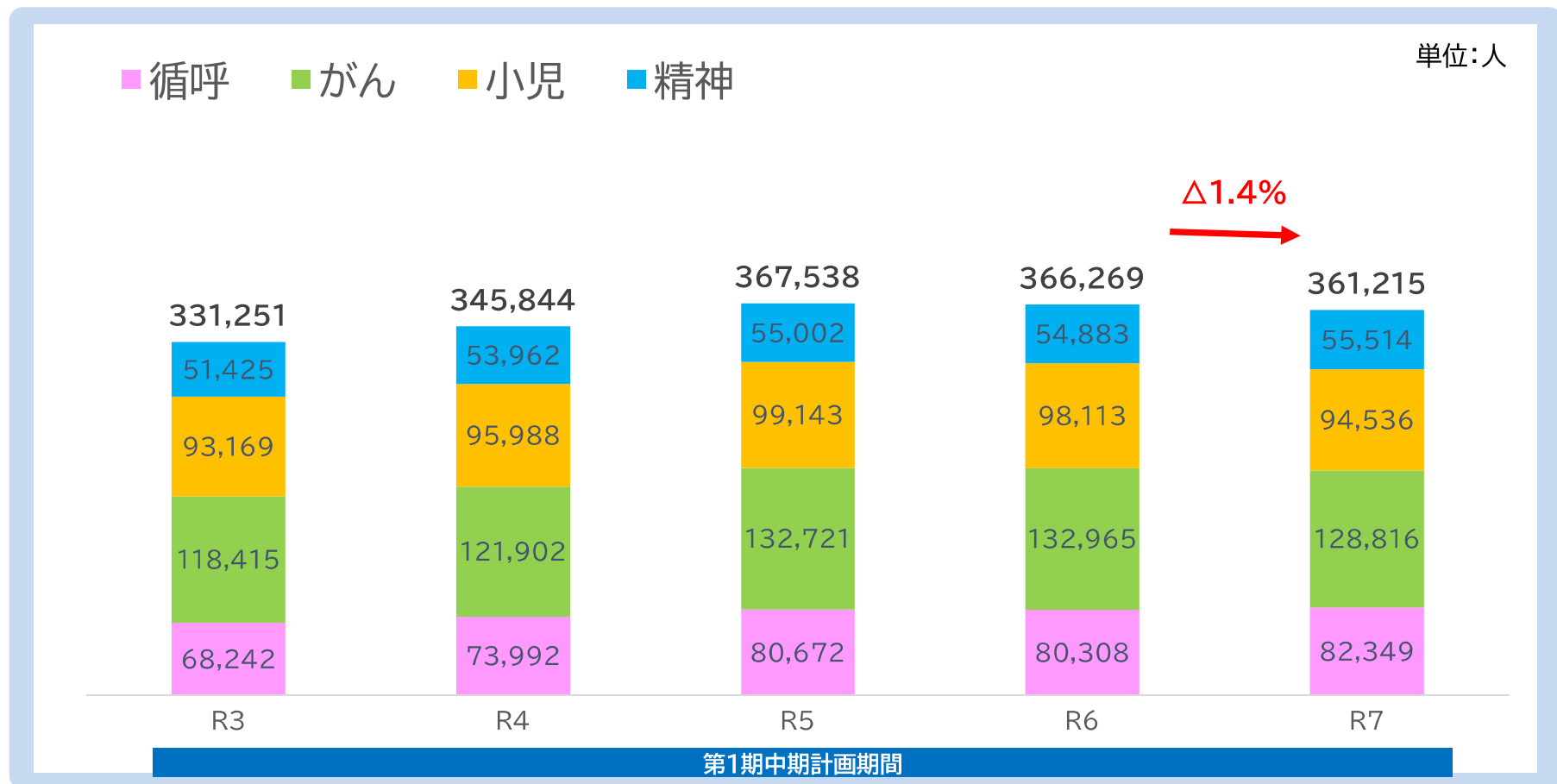
延べ外来患者数の推移

令和7年度は機構全体で前年度比 $\pm 0\%$ で、各病院ともに横ばい。
第1期中期計画期間では、コロナ禍後に一定程度回復したものの、令和5年度以降ほぼ横ばい。



延べ入院患者数の推移

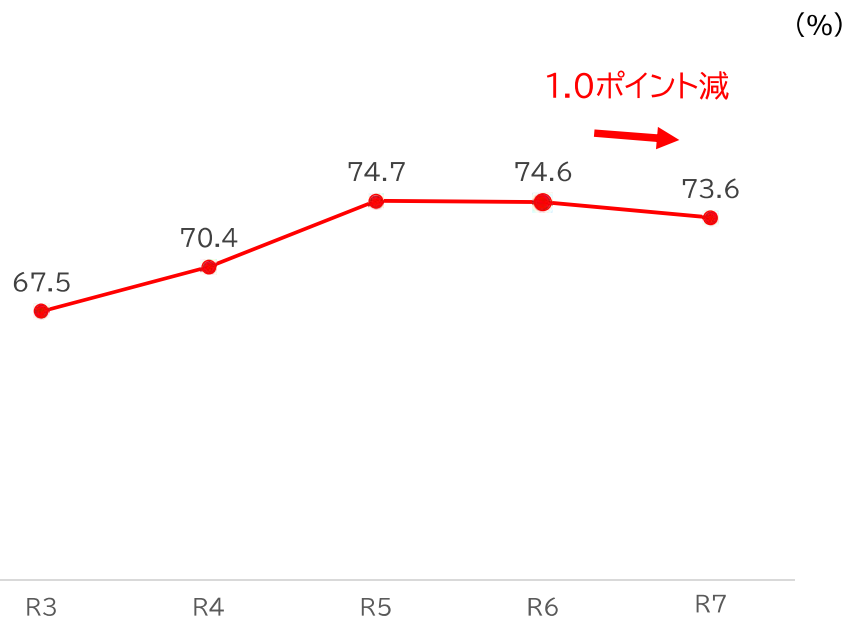
令和7年度は機構全体で前年度比 $\Delta 1.4\%$ で、**循呼・精神**は**増加**、**がん・小児**は**減少**となった。
第1期中期計画期間では、令和5年度以降、全体で横ばいから微減傾向となっている。



病床利用率の推移

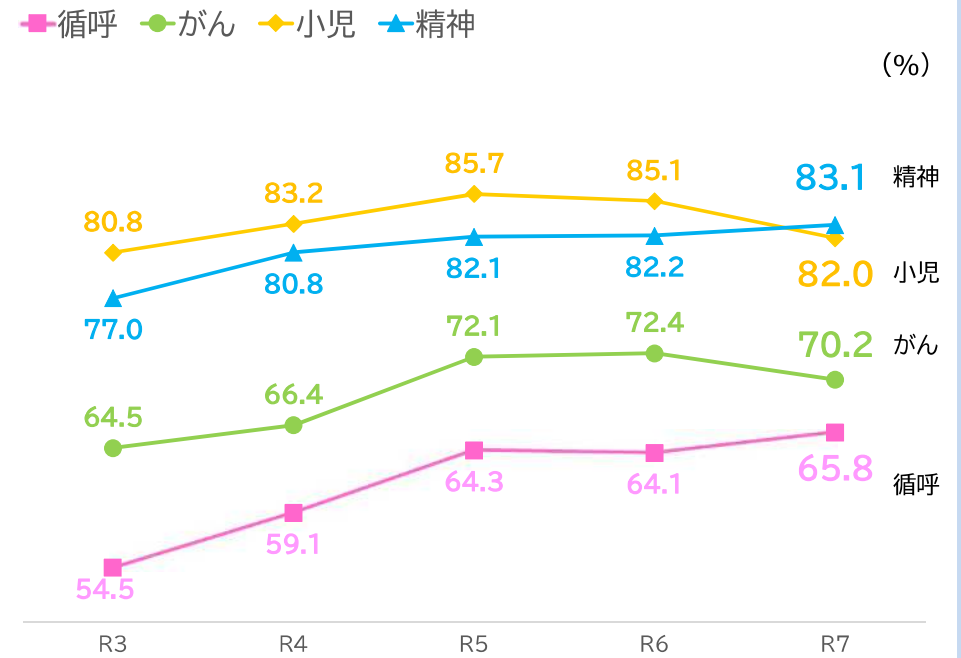
令和7年度は機構全体で前年度比△1.0ポイントで、**循呼・精神**は**上昇**、**がん・小児**は**低下**となった。
第1期中期計画期間では、延べ入院患者数と同様に令和5年度以降、全体で横ばいから微減となっている。

4病院全体



第1期中期計画期間

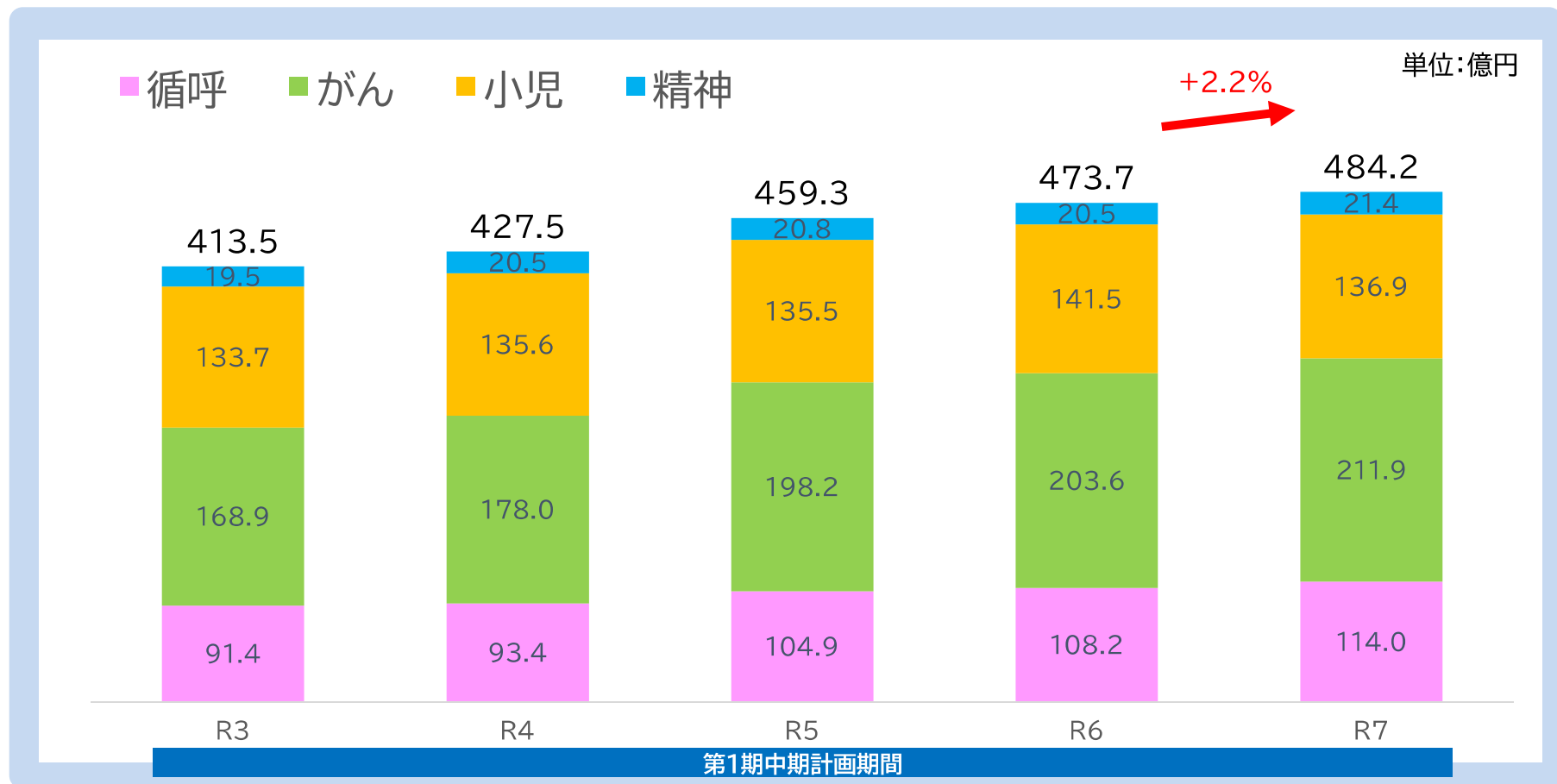
病院別



第1期中期計画期間

外来収益及び入院収益の推移

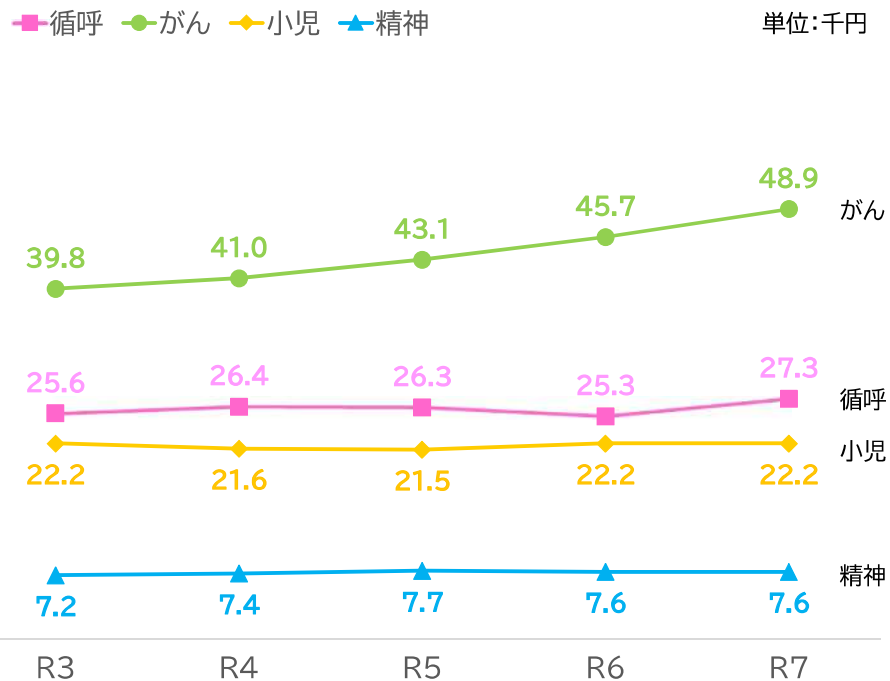
令和7年度は、4病院全体で前年度比**10.5億円の増(+2.2%)**で過去最高額となった。
第1期中期計画期間では、令和3年度比で**70.7億円の増(+17.1%)**となった。



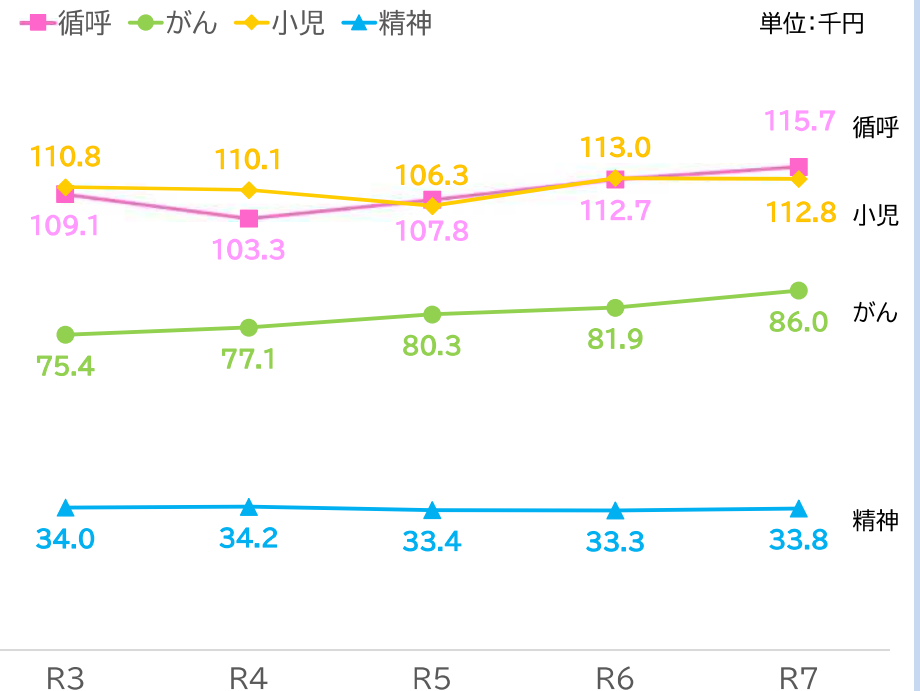
外来単価及び入院単価の推移

第1期中期計画期間中で、全体的に単価は上昇し、特にがんセンターにおいて令和3年度比で外来単価22.9%増、入院単価14.1%増と、大幅に上昇した。

外来単価



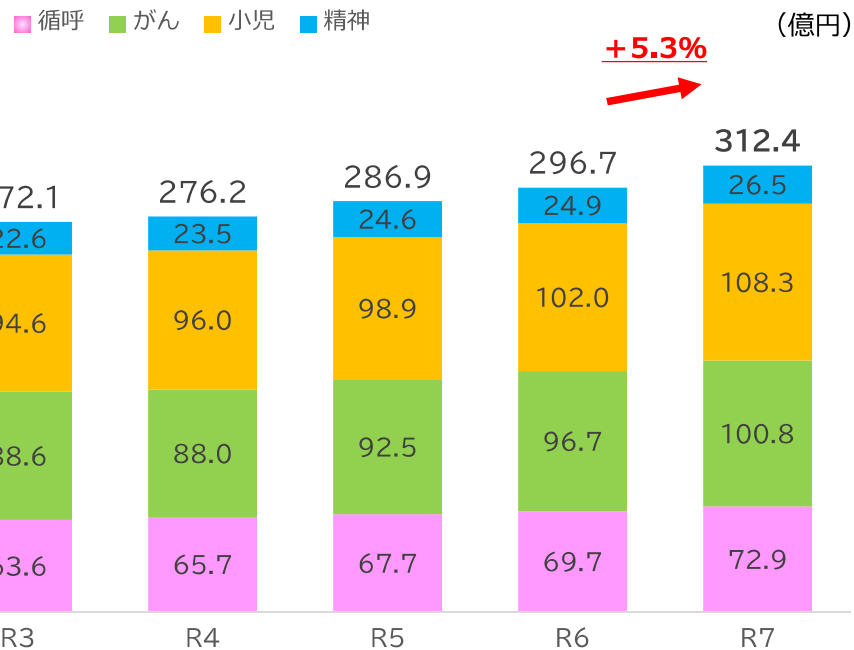
入院単価



給与費の推移

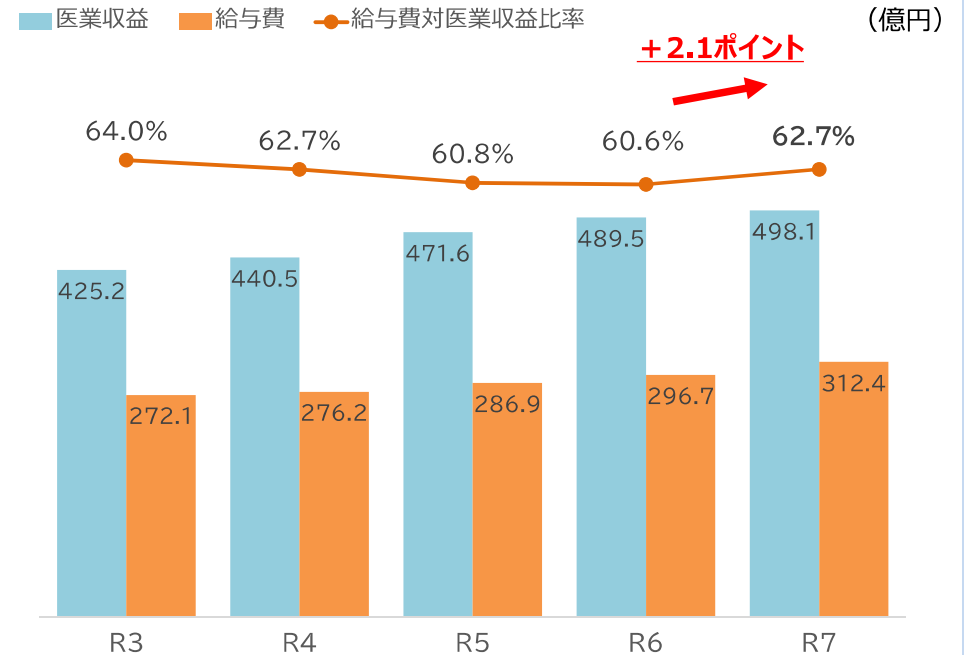
令和7年度は、前年度比**15.7億円の増(+5.3%)**で、給与改定による影響額は約8億円となった。
第1期中期計画期間では、令和3年度比で**40.3億円の増(+14.8%)**となった。

給与費



第1期中期計画期間

給与費対医業収益比率



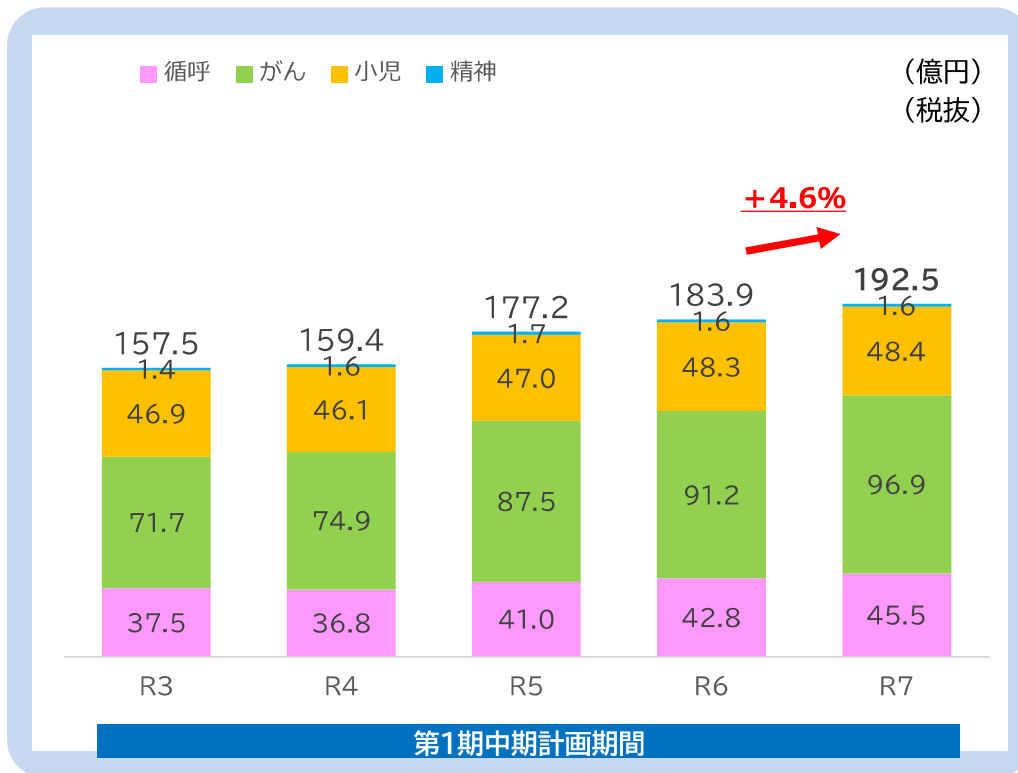
第1期中期計画期間

※ 合計値には病院機構本部の給与費を含むため内訳と一致しない

材料費の推移

令和7年度は、前年度比**8.5億円の増(+4.6%)**となった。
第1期中期計画期間では、令和3年度比で**34.9億円の増(+22.2%)**となった。

材料費(薬品、診療材料等)



材料費対医業収益比率

